



年頭のごあいさつ

「激動の時代を越えた先、輝く未来への先導者」

加古川商工会議所

会頭 釜谷 和明

令和5年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年11月の臨時議員総会で再任され、大庫副会頭、山本副会頭、大辻副会頭、常議員や議員の皆様と共に、第24期の新体制が発足致しました。会頭として3期目となり、皆様方のご期待に応えられるよう地域経済発展に尽くす決意しております。お力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。

日本経済は、ロシアによるウクライナ侵攻と経済制裁の影響で、エネルギー資源や穀物などの供給が停滞し、光熱費や食料品、部品・原材料に至るまであらゆる価格の高騰が続く中、急激な円安の影響が追い打ちとなっています。「値上げ」「賃上げ」の判断に迫られるこの厳しい状況下で、さらに、消費税インボイス制度・脱炭素への取組み・SDGS達成・DX推進など様々な経営課題が山積し、企業は近年まれに見る経営上の難局と対峙しており、政府による緊急的な経営支援策が求められるほか、支援機関として商工会議所の果たすべき役割は益々重要となっています。

当地域においては、ハード面では東播磨道の北工区、国道2号加古川橋架替などインフラ整備事業が着々と進んでおり、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現されることとなっています。また、2025年に開催される大阪・関西万博は、地域の文化財・食・自然などの地域資源をPRするとともに観光資源化を図り、訪日外国人など多くの観光客を誘客し地域を活性化させる絶好の機会となります。当所では、(一社)加古川観光協会と緊密に連携を図り、当商工ビル1階に観光情報発信基地を整備するとともに、地域企業の売上アップにつながる「ふるさと納税返礼品への登録」を推進、加古川市の税収増、企業業績アップ、雇用増、消費増へと繋がる好循環の実現を目指します。

当所は昨年に創立70周年を迎え、おかげさまで会員数は十数年ぶりに2900事業所に回復しましたが、コロナ禍で経営に苦慮されている事業者の皆様からの相談が急増しており、支援機関としての商工会議所への期待が高まっていることを実感しています。

ニーズに合った各種施策の実施や相談支援事業を推進するとともに、関係機関とも連携を図り、各種公的支援策の活用や情報提供、中小企業のポストコロナ時代及び原材料価格の高騰対策に向けた経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う伴走型の支援を行う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

卯年の本年は、会員の皆様にとりまして、これまでの忍耐と努力の成果が報われ、苦難を乗り越えた先にある輝かしい未来へと「飛躍する」年となることを願います。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとってよい年でありますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。